

Logical Solutions 社 コンソールサーバー SCS-RJ シリーズと PRIMERGY RX300 S5 の 接続検証結果報告書

1. 作業実施概要

Logical Solutions(LSI)社のシリアルコンソールサーバー『SCS シリーズ』と PRIMERGY RX300 S5(RedHat Enterprise Linux V.5.3 (for x86) および、V.5.3(for Intel 64))との接続・動作確認を実施致しました。



2. 被検証装置

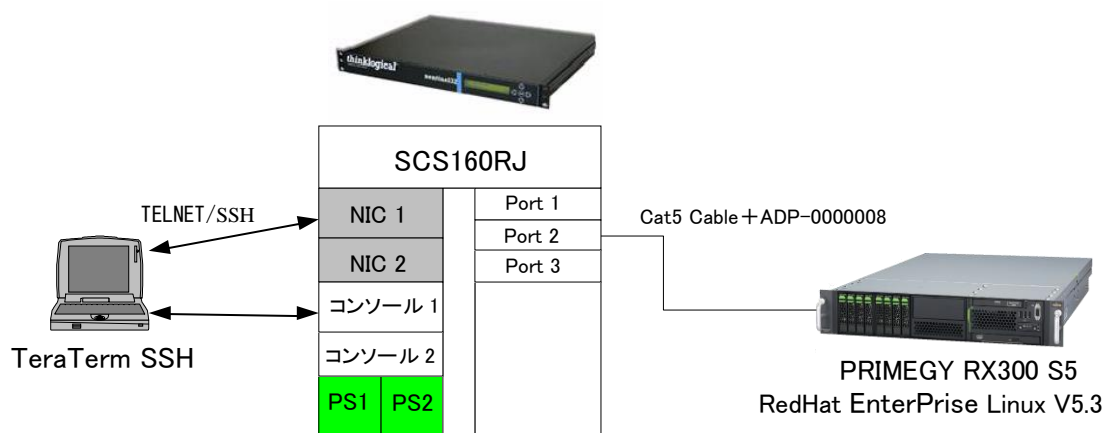
品名	型名
セキュアコンソールサーバ SCS160RJ	SCS-00160R

3. 検証期間・場所

2009年10月14日 ~15日

富士通 Platform Solution Center(検証センター 浜松町)

4. 実施システム構成(概要)



(1) PRIMERGY RX300 S5 (以下 RX300 S5)

RedHat Enterprise Linux V5.3、32bit(for x86) および、64bit(for Intel 64)

CPU: Xeon 2.93GHz x2, Memory 4GB x2, HDD 300GB x3 (RAID 5)

(2) セキュアコンソールサーバ SCS160RJ (V3.2-15J)

RJ45-DB9F アダプタ(P/N: ADP-000008)

5. 検証項目

- (1) RX300 S5 の COM1 コネクタを、ADP-000008 アダプター+cat5 ケーブルで、コンソールサーバ SCS160R(以降 SCS)デバイスポートと接続。
Tera Term を実行する Windows PC からシリアル, telnet および SSH により SCS に接続できること。
- (2) Tera Term を実行する Windows PC から SCS を経由して RX300 S5 の Linux シリアルコンソール操作を支障無く行えること。
- (3) SCS からのコンソール操作時に、SCS をリブートしても RX300 S5 動作に影響を与えないこと。
- (4) SCS からのコンソール操作時に、SCS の電源を OFF、ON しても RX300 S5 動作に影響を与えないこと。
- (5) SCS からのコンソール操作時に、SCS と RX300 S5 の接続ケーブルを抜き差ししても SCS および、RX300 S5 動作に影響のないこと。
- (6)上記を RedHat Enterprise Linux V5.3 32bit(for x86) および、64bit(for Intel 64)についておこなう。

6. 検証結果

TeraTerm を実行する Windows PC から、SCS を経由してコンソール操作を実施できることを確認しました。

また、手順 (3)から(5)の操作で、RX300 S5 動作に影響を与えないことを確認しました。

6-1. RX300 S5 BIOS の設定

(1) Server メニューの Console Redirection

- Com Port Address : On-Bord COM A
- Baud Rate : 9600
- Console Type : VT100
- Flow Control : Xon/Xoff

6-2. RedHat EnterPrise Linux V5.3 設定

(1) /boot/grub/grub.conf

- splashimage 行をコメントアウトし、その行の下に以下 2 行を追加
serial --unit=0 --speed=9600 --word=8 --parity=no --stop=1
terminal --timeout=10 serial console
- 起動するカーネルの kernel 行の最後に以下を追加(1 行で追加)
onsole=tty0 console=ttyS0,9600

(2) etc/inittab

- 最下行に以下を追加。
Serial Console
co:2345:respawn:/sbin/agetty -h 9600 ttyS0 vt100

(3) /etc/sysconfig/kudzu

- SAFE=no を yes にする。

(4) /etc/securetty

- 最下行に以下を追加
ttyS0

6-3. SCS160RJ デバイSPORT設定はデフォルト設定

- 9600 bps、8bit-Data、No-Parity、1stop、Xon/Xoff flow control、DCE

6-4. ご注意

RX300 S5 と SCS のシリアル接続で、フロー制御方法が異なる設定（RX300 S5 側:CTS /RTS 制御、SCS 側:ソフトウェア）で、伝送速度設定が高速（19.2kbps 以上）で使用した場合、まれに RX300 S5 起動が、カーネル選択画面で停止（入力待ち）する現象が発生することが報告されています。

これは、RX300 S5 から送られる起動時の多量のメッセージに対して、SCS から、フロー制御信号（Xoff および、Xon コード）が送られることがあり、これが RX300 S5 grub conf 設定のタイムアウト時間内であると、RX300 S5 はキー入力があったと認識することによるものです。RX300 S5 と SCS の接続では、双方のシリアル通信設定が一致していることをご確認いただくようお願いいたします。

お問合せ先

株式会社昌新

情報システム営業部（担当：浅利）

TEL：03-3270-5926

E-mail: IS@shoshin.co.jp

URL: <http://www.shoshin.co.jp/c/lsi/scs/>

以上